

学校支援活動

【昔の遊び】

12月12日（水）塚脇小学校の1年生は、「生活」の時間を活用して松岡祥生さんをはじめ、6名のボランティアの方々のご協力をいただき『昔の遊び』を行いました。

内容は、「シユロの葉のバッタづくり」「コマまわし」「おはじき」「あや取り」「お手玉」の5種類と多彩で、児童からは初めてした遊びもあり、大変楽しかったと好評でした。



「コマまわし」…うまく回ったかな？

【サツマイモ料理】

12月19日（月）小田小学校で学校園で丹精こめて栽培した『サツマイモを使った調理実習』が、古川弥生さん外2名のボランティア



先生の手元をしっかりと見て、上手に丸めましょう

の方々のご協力で行われ、1・2・3年生は『イモまんじゅう』、6年生は『さつま汁』づくりに、馴れない手つきで一生懸命に取り組んでいました。
「あんこを丸めるのが難しかった」「おいしかった。今度は家で作ってみたい」等の感想が聞かれ、感動の家庭科の授業でした。

～学校支援活動～

（地域「協育力」向上支援事業）

次代を担う子ども達を学校・家庭のみでなく、地域の大人たちが地域の宝として、実情に応じた学校・家庭との更なる連携の中で育てようとする取り組み。

野鳥観察会

1月14日（県野鳥調査の日）に、玖珠地区青少年健全育成協議会による野鳥観察会が、きりかぶ緑の少年団、つのむれ緑の少年団を合せた12名と、玖珠野鳥の会、日田・県野鳥の会、役場、振興局、わらべの館の方々の指導協力により開催されました。

当日は風があまりなく、気温も比較的暖かかったので、観察時間も少し長めとなり、あまり聞き慣れない「バン」や「ミサゴ」という名前の鳥など、指導者の方のスコープにとらえた野鳥の姿をみることができました。

年間を通じて身近にいる「留鳥」と、冬や夏に飛来する「渡鳥」について教えていただくとともに、周りの鳥たちをやさしく丁寧に観察してほしいとの指導がありました。



水辺の環境しらべ



特に多かったのは、タバコの吸い殻・ペットボトル・ビニール袋・食品トレなどでした

きりかぶ緑の少年団では、1月14日に5人が参加して、玖珠川べりのゴミ拾い活動をし、鳥や魚にとって水辺の環境がどのようになっているかを調査しました。

1時間の活動で、大小のいろいろなゴミを拾い、分類してみると26種80個を超えるものになりました。

鳥や魚は、捨てられた物をどれもかまわず飲み込んでしまい、時に命にかかわることもあることを指導者に教えてもらい、貴重な学習をしました。

時計の♡奇贈、ありがとうございます

日頃からくすふれあいホールをご利用頂いている「生涯学習・趣味の会」の皆さんから、会館の各部屋に掛け時計を奇贈いただきました。
新築時には、個人の方などから玄関や廊下に時計をいただき、この度各部屋にも取り付けることができ、利用者の皆様に喜ばれています。ありがとうございます。

